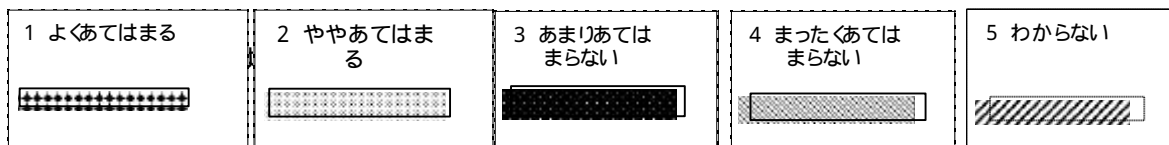


平成20年度 岐阜県立瑞浪高等学校生徒及び保護者等を対象とするアンケート集計結果 (対象:保護者、学校評議員等)

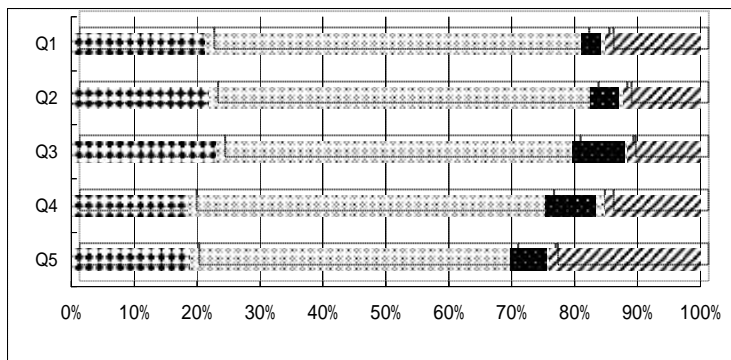
回答者 285名



教育方針

- Q1 学校の教育方針や指導の内容に共感できる。
- Q2 学校は、自主性・創造性のある生徒を育てようとしている。
- Q3 学校は、一人一人の良さや可能性を伸ばすことに努めている。
- Q4 学校は、人間としての基本的な倫理観や規範意識を身につけさせようとしている。
- Q5 校長のリーダーシップのもと、全職員が学校経営や教育活動に創意を凝らし、魅力ある学校づくりに取り組んでいる。

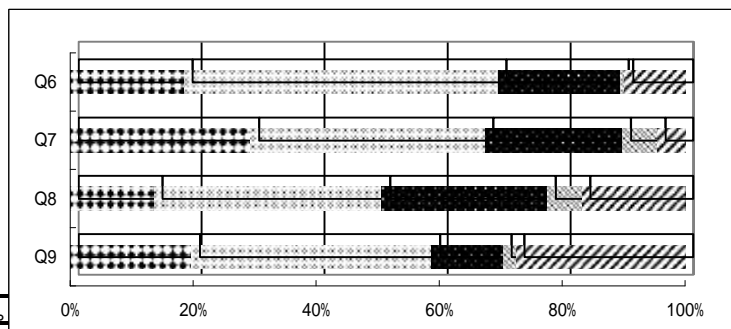
概ね教育方針の理解は得られている。



家庭との連携

- Q6 学校の教育方針や指導の内容を保護者にわかりやすく伝えている。
- Q7 学校からの連絡文書等は、保護者に確実に届けられている。
- Q8 学校は保護者が授業を参観する機会等をよく設けている。
- Q9 学校は、保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。

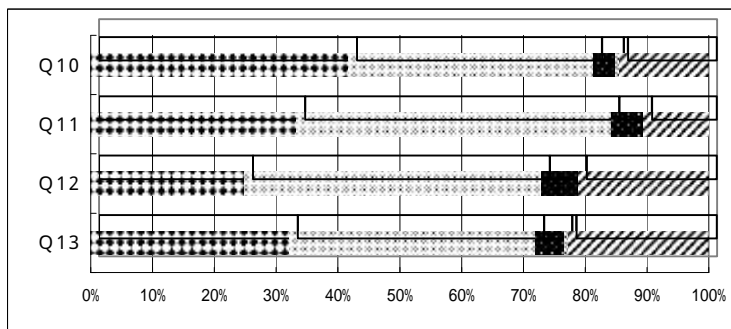
授業参観の機会について否定的な評価が多い。



教職員

- Q10 学校を訪問したり、電話した時の学校職員の対応(明るい挨拶や丁寧な話し方)が適切である。
- Q11 学校の教師は、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる。
- Q12 学校の教師は、専門的知識が豊富であり、授業内容について信頼できる。
- Q13 学校の教師は、子どもが相談したときには、親切に対応してくれる。

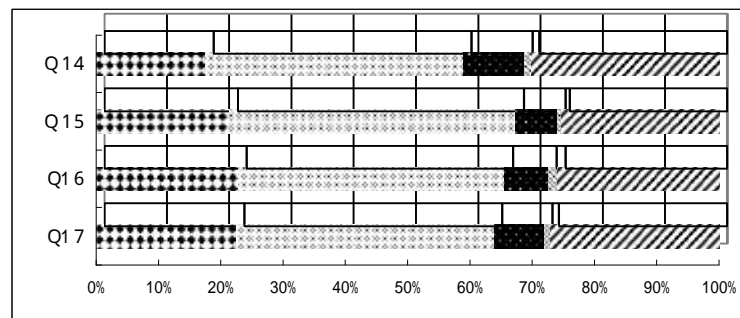
概ね良い評価である。



学習指導

- Q14 学校は、子どもが意欲的に取り組むように授業の工夫をしている。
- Q15 学校は、テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価を行っている。
- Q16 補習等を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている。
- Q17 学校は、個人の興味・関心、希望や能力にあった選択授業や少人数授業を行っている。

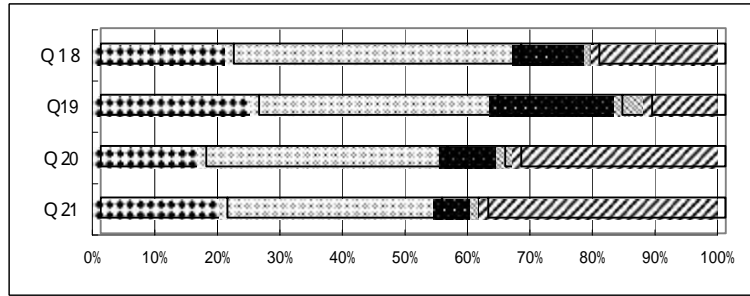
全体的に6割ほどの評価を得ているが、わからないという回答が3割近くある。



生徒指導

- Q18 学校は、自分の子どもをよく理解していて、子どもに合った生徒指導をしている。
- Q19 学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせることや、相応しい服装、頭髪等の指導の徹底を図っている。
- Q20 学校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。
- Q21 学校では、体罰の防止に努めている。

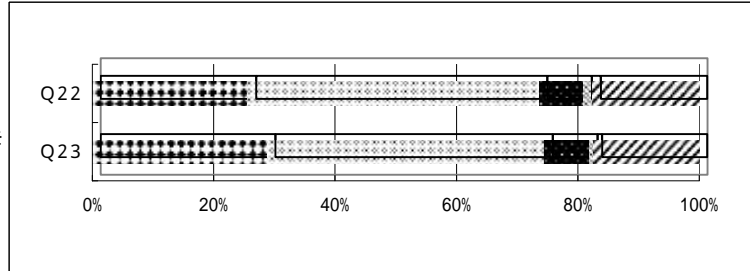
いじめや差別への対応や体罰の防止に関して4割近くがわからないと回答している



進路指導

- Q22 学校は、生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出そうとしている。
- Q23 学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている。

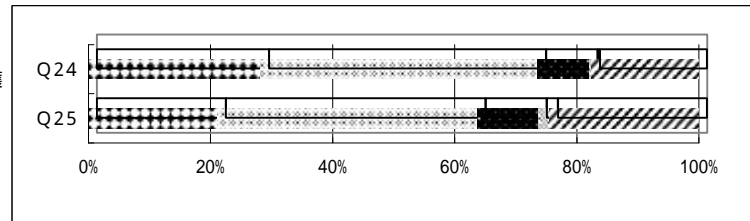
概ね理解は得られている。



健康管理 安全指導

- Q24 学校では生徒の安全・衛生面に配慮し、交通事故や痴漢防止など安全指導をしている。
- Q25 地震や台風などの場合の対応について、生徒や保護者に対策マニュアルが知らされている。

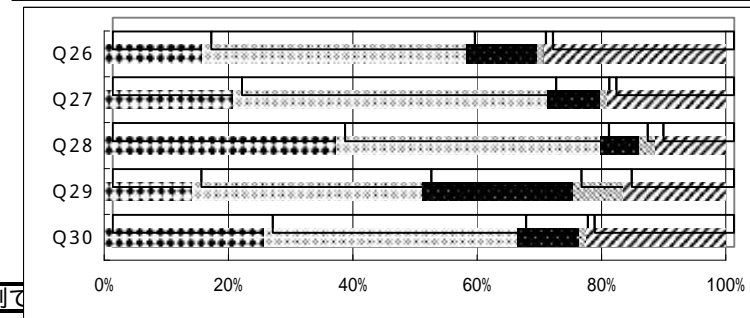
地震等の対策マニュアルに関して25%ほどがわからないと回答している。



学校行事等

- Q26 学校は、外部講師の講演や様々な体験を積むなど、授業以外の学習の機会が多い。
- Q27 学校は、子どもの成長の糧となるような学校行事を行っている。
- Q28 学校では、部活動が活発に行われている。
- Q29 学校の施設・設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。
- Q30 学校はボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。

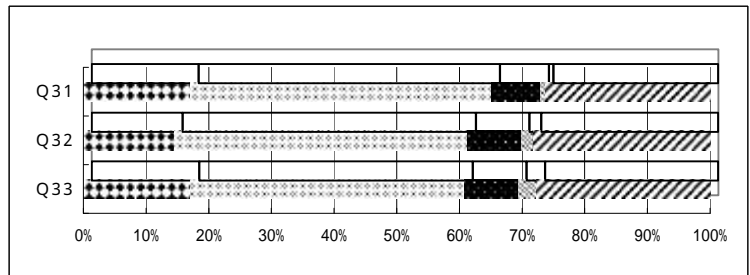
学校の施設・設備に関して肯定的な回答が5割で



学校独自項目 (A)

- Q31 学校は、自らの健康の保持・増進を図り、命の尊さを考えさせるなど、安全教育を推進している。
- Q32 学校は、保護者や地域の人たちの意見をいろいろな場面で聞き、反映させながら教育活動を推進している。
- Q33 学校は、保護者や地域の人たち等にかかれた学校づくりに積極的に取り組んでいる。

わからないという回答が3割近くある。



学校独自項目 (B)

- Q34 学校は、子ども一人一人が学校生活の中で充実感が高まるような指導を行っている。
- Q35 学校は少子高齢化や情報化・国際化等の社会の変化に対応するような教育活動に取り組んでいる。
- Q36 学校は、各学科(普通科・生活福祉科)の特色を出しながら教育活動を行っている。

学科の特色を出した教育活動に関して理解を得られている。一方、社会変化に対応する教育活動に関しては5割ほどしか理解されていない。

